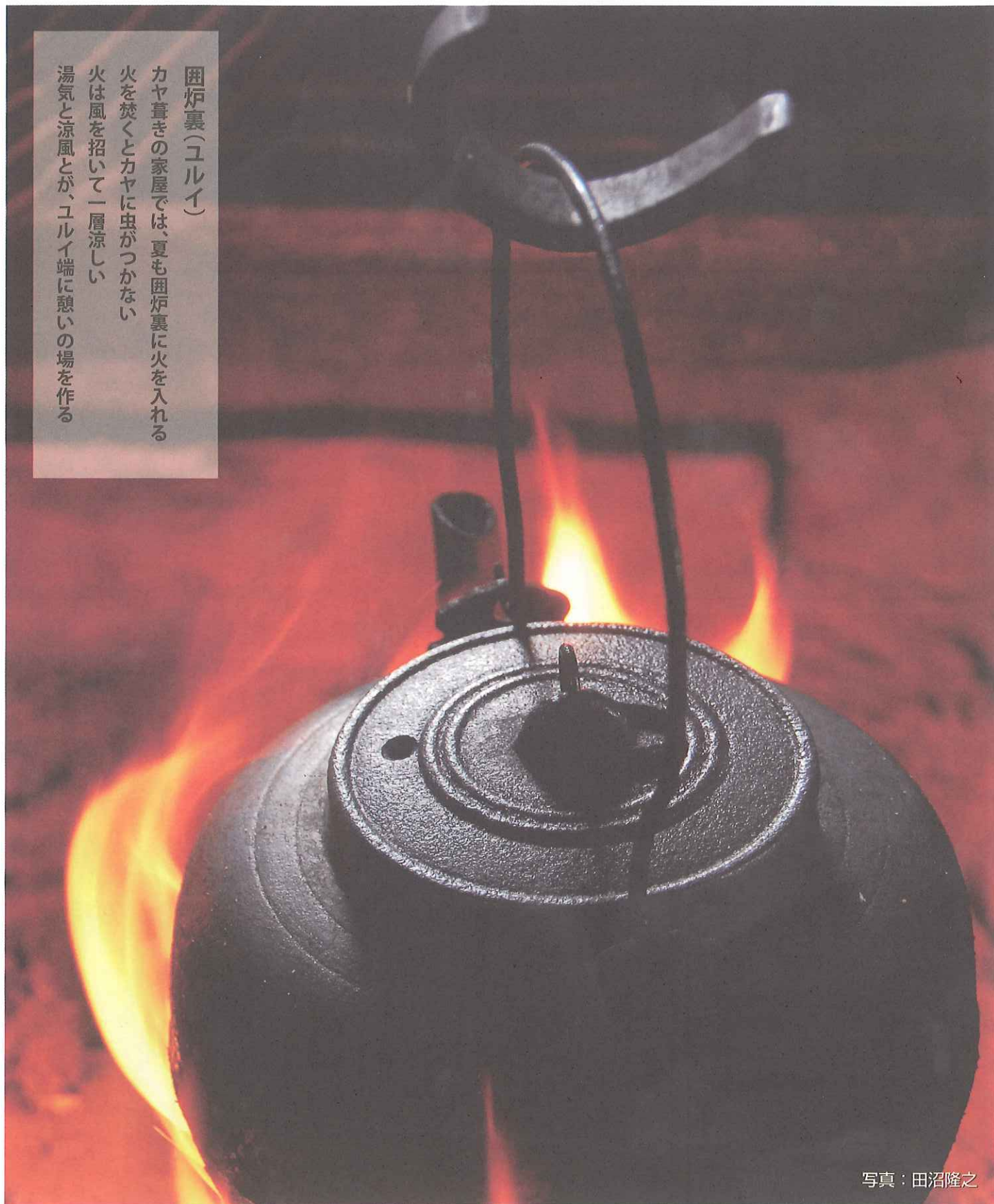


# 奥会津だより



## 囲炉裏(ユルイ)

カヤ葺きの家屋では、夏も囲炉裏に火を入れる  
火を焚くとカヤに虫がつかない  
火は風を招いて一層涼しい  
湯気と涼風とが、ユルイ端に憩いの場を作る



# 昭和三十三年の水害

島谷 拓実★只見町立只見中学校 二年



この写真は、昭和三十三年のころの写真です。昭和三十三年の九月ごろの、一週間前から、二回、水害にあいました。当時、黒沢は、二十五けんほど家があり、約半分の家が床下浸水の被害を受けたそう

です。そのため、田んぼや、畑も被害を受け、収穫寸前の稲もまきこまれ、穂だけが水面から顔を出す状態でした。そして、田んぼがどろや、砂などで埋まってしまったので、ブルドーザーを使ってかき出し、それでも取りきれない所を、皆で協力し、手などでどろをほって、一輪車で運んでいました。そのころは、伊南川の橋がつり橋のようなものだったので、川が増水したため、流されてしまったので、船で行き来してました。

昭和三十三年なので、耕うん機などの発達した機械がありませんでした。なので、牛や馬を使って、田や畑を耕してました。しかし、平成四年ごろに、圃場整備が始まり、田も大きくなり、やりやすくなりました。ぼくは、この話を聞いて、時代の変化を感じました。

## 取材ノート

島谷 拓実君宅(只見)

で聞く

Q・昭和33年の水害のことを、拓実君は書いてくれました。なぜこの写真を選んだのでしょうか？

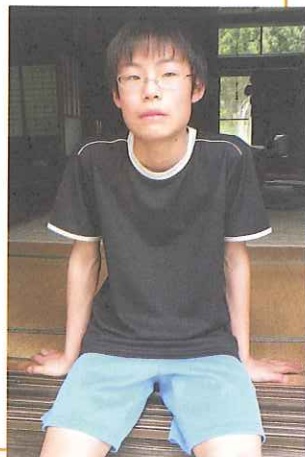
拓実君・この年の9月、2回もこの村が水害にあったということに興味をもちました。

Q・当時は、どんなお仕事をしておられたのでしょうか？

嘉輔さん・田子倉の方に行つて、いろんな工事に携わっていました。この水害の時は田子倉から夕方帰つて来たら、この辺が水いっぱい、橋渡らんががた。それで、向かい側で、水引くまで待っていた。どうにか水が引けて橋を渡つたが、水かさが2m以上もあつて進めなかった。昼間いい天気、なんでここに大水が出んだべ、つて思った。



祖父 酒井 嘉輔さん  
(昭和8年生)  
孫 島谷 拓実君  
(只見中2年)



一週間後ぐらい、家に居た時に、また同じような水害があつた。身動きが取れなくなった人たちにロープを投げ、それにつかまって高いところに避難した。田んぼに入った泥などは、デンプアツ(電源開発)に頼んで、そのブルドーザーで押し出してもらった。

Q・9月というのは稲刈り前ですね。嘉輔さん・刈り取り前で、稲が倒れた。稲の穂首だけを刈つてムシロに干した。自分家の分ぐらいはなんとか採れた。元の様な田んぼになるのには、2年ぐらいかかったかな。

Q・この頃は耕運機などはなかったですか？

嘉輔さん・無いな、牛だな。馬耕つて、牛に引かせてシロカキなどして、家の中で飼っていた。昭和40年頃まで家で飼っていたな。冬になると堆肥をソリにつけて引い

て田んぼに運んだ、コイヒキ(肥え引き)つてな。3月になってカタユキになるとコイヒキをやつた。

Q・昔の写真を見ながら孫さんと話したというのは初めてですか？

嘉輔さん・大きくなると、なかなか孫たちと話をする機会が無くなつて……。

Q・こちらで、「山入り」という行事はやつてましたか？

嘉輔さん・正月の2日な、今はやる人が居なくなつた。松の中に餅とかだし魚、酒とか1合徳利に入れて。オレが2、3年前までやつていたんだが……。

拓実君・僕もじいちゃんに習つて「山入り」やつてみようかな。

写真・文責・菅 敬浩

## 奥会津 聞き書き百選 募集要項

一枚の写真をもとに、家族や身近な方々から話を聞き、文字に記録した原稿を募集します。

■テーマ 困難を乗り越えた話

■募集規定

- ・原稿用紙1枚～3枚程度(住所・氏名・ふりがなを記入してください)
- ・写真のコピーもしくはデジタルデータを添付してください。
- ・原稿は返却いたしません。
- ・応募×切：平成23年9月30日消印有効
- ・応募は無料です。
- ・奥会津在住もしくはご出身の方に限り応募できます。

※応募作品の一部は『奥会津 聞き書き百選』として出版されます。(一般書店での販売はありません)

●主催：只見川電源流域振興協議会

●応募先：

奥会津書房

〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下中乙田979

Tel:0241-52-3580

## 薬になる野草 ウツボグサ



緑の中に鮮やかな紫が美しいウツボグサ。8月初旬、花が枯れた頃が摘み頃で、茎を束ねて逆さに吊るし、乾燥させておく。花穂だけを煎じて利尿剤として日常的に飲用した。昔からどの家でも通年保存しておいたという。褐色になった花穂の形が、矢を入れて背負う鞆(うつぼ)に似ていることからこの名がついた。



只見町蒲生集落の入り口。舟型光背の像高24センチの小さな道祖神は、並立して手を重ね合わせている。風化がすすみ、顔は磨耗して崩落しているが、国道の傍らに坐しながら、佇まいは一層静かでおだやかだ。隣には文字碑二基がある。  
(只見町蒲生)

## 祈りの世界 双体道祖神



## 里山の生き物たち

### ニホンカモシカ

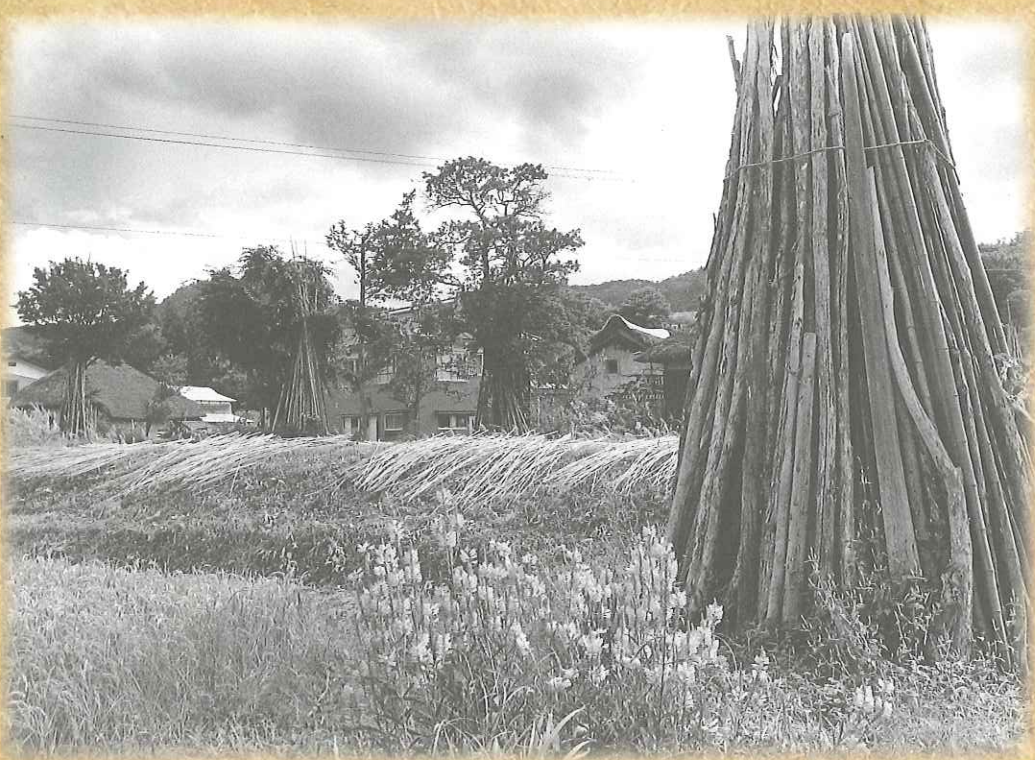
朝夕の採食の時間帯にたまたま山道で出会うと、黒く大きな瞳でみつめられる。やわらかく大きなジャンプは静かで優雅だ。天然記念物。

## ていねいな暮らし

写真・文 竹島 善一

川辺に麻の茎が干されている。立ち木に束ねられた細木(細木巻)は、稲架(はぎ、はげ、さで)や冬囲いのための大切な素材。夏空に立つ姿に労働と人の絆の確かさを見る。

昭和52年8月昭和村大芦



# Q方言クイズ

クイズに答えて奥会津の地場産品を貰おう!

問題：次の方言の意味は何でしょう?

「コイヒキ」 ヒント：p.2. 聞き書きをご参照下さい。

正解者の中から抽選で2名様に、昭和村の「からむしの手編みポシェット」をプレゼントいたします。

●応募方法：官製ハガキに奥会津だよりの感想、住所、氏名、電話番号を明記の上、答えをお書きください。

●あて先：〒969-7511

福島県大沼郡三島町大字宮下字中乙田979  
奥会津書房 宛

●応募締切：2011年8月15日消印有効

※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。※クイズの答えは次号64号で発表いたします。



## ◎62号「カメ」の答え：「カンジキ」

たくさんのご応募ありがとうございました!

# 読者コーナー



## お便り紹介

●「聞き書き」や昔の写真を楽しみにしています。自然と共に営まれてきた人の暮らしが忘れ去られようとしている現在、こうした当たり前の知恵を発信していただいていることに感謝します。(千葉県船橋市 N.Sさん)

●第42号(2007年夏号)から送っていただいて、今回で20回目になります。本当に必要な物や良い物は、変わることなく受け継がれるものだと思います。東日本大震災に負けないでガンバってください!(栃木県小山市 S.Aさん)

●私の亡くなった母もいろいろなことを教えてくれました。農家だったため、昔の風習やら昔の仕事のことやら、自分の代には全く使わない手仕事などを伝えないと、二度と表に出てこない事柄。奥会津だよりはそんな、切なく、なつかしい話がとても多いです。何かで伝えなくては消えてしまうのは残念です。(栃木県鹿沼市 I.Nさん)

●こども聞き書き百選は世代間をつなぐ温故知新的なほのぼのとしたおばあさんとお孫さんの会話がなんともいえず温かみを感じ、ご家族の絆が心に沁みてきます。(喜多方市 S.Kさん)

## 奥会津だより 無料送付のご案内

ご希望の方は事務局まで発送先(ご住所・お名前)をご連絡ください。

問い合わせ先：只見川電源流域振興協議会事務局

TEL.0241-48-5525 FAX.0241-48-5575

E-mail: webmaster@okuaizu.net

## 奥会津振興センターより

### 奥会津人材育成

1. コミュニティリーダー養成・起業術コース(全8回) 6月30日から開校
2. 奥会津案内人養成コース(全13回) 7月6日から開校
3. 奥会津案内人実践コース 11月以降実施予定

奥会津聞き書き事業 P2の募集要項をご覧ください。

### 奥会津だより作製事業

今年度は5月より3月まで奇数月発行で6回発行し配布します。

### 伊南川・只見川活用調査事業

伊南川を舞台としたフィールドワークショップを夏休み期間中(7月下旬から8月いっぱい)に開催。川遊びや川の生き物調査など親子で体験できるメニューを予定しています。

### 地域産業確立事業

4つの部会を編成し、地域の担い手の活動支援と震災の影響による風評被害対策を行います。

○着地型観光部会：広域的な着地型観光メニューの造成と売込み、モニターツアーの実施等。

○農家民泊部会：農泊メニューの売込みと実施。流域内の農泊受入れの拡大等。

○農工商連携部会：風評被害払拭へ向けたPR活動。農工商連携認定に向けた取り組み等。

○定住・二地域居住部会：空家物件情報収集。物件見学モニターツアーの実施等。

### 奥会津広域観光PR事業

様々なメディアを用いて歳時記の郷・奥会津をPRしていきます。また今年度は流域内で復興イベントを開催し、地元の人と福島を応援する人を結び付け福島復興を目指します。

7月中旬～9月中旬

## 奥会津イベント情報

日時	イベント名	町村名	場所	問合せ
7月16日(土)	伊南川鮎釣り解禁	伊南地域	伊南川	南会津西部非出資漁業協同組合 0241-72-2110
7月16日(土)～17日(日)	第26回からむし織の里フェア	昭和村	からむし織の里	からむし織の里フェア実行委員会 0241-57-3100
7月23日(土)～8月14日(日)	田舎で遊ぶ夏休み	檜枝岐村		尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
7月30日(土)	花泉雪中貯蔵酒と郷土料理の夕飯2011	南郷地域		花泉酒造合名会社 0241-73-2029
7月30日(土)	会津高原たていわ夏まつり	舘岩地域	たかつえスキー場	南会津町観光物産協会舘岩支部 0241-78-2546
7月30日(土)～31日(日)	水の郷まつり	只見町	只見川公園	水の郷まつり実行委員会 0241-82-2380
7月31日(日)	自然首都・只見トリムウォーク&トリムラン	只見町	町下運動場(スタート・ゴール)	只見トリムウォーク&トリムラン実行委員会 0241-82-2380
7月31日(日)	唐倉山山開き	南郷地域		唐倉山登山案内所(民宿まつば) 0241-72-2282
7月31日(日)	こども溪流まつり	舘岩地域	しらかば公園	南会津町観光物産協会舘岩支部 0241-78-2546
8月6日(土)	大桃夢舞台	伊南地域	大桃地区	南会津町観光物産協会伊南支部 0241-76-2517
8月6日(土)～7日(日)	沼沢湖水まつり	金山町	沼沢湖畔	金山町観光物産協会 0241-54-2311
8月6日(土)～7日(日)	第19回真夏の雪まつり	檜枝岐村	尾瀬檜枝岐温泉スキー場	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
8月10日(水)	霊まつり・稚児行列・流灯花火	柳津町	只見川河畔	柳津観光協会 0241-42-2346
8月15日(月)	大谷川河川まつり	三島町	大谷川河川敷公園(宮下地区)	只見川漁業協同組合三島支部 0241-48-5566
8月20日(土)～21日(日)	第3回子どもブナサミット	只見町	季の郷湯らり、癒しの森	只見町ブナセンター 0241-72-8355
8月27日(土)	早戸温泉神社まつり	三島町	早戸温泉	早戸温泉つるの湯 0241-52-3324
8月27日(土)～28日(日)	第2回尾瀬檜枝岐ぶなの森ウォーク	檜枝岐村	檜枝岐村内	尾瀬檜枝岐温泉観光協会 0241-75-2432
9月3日(土)	第20回南郷豊年まつり	南郷地域		南郷豊年まつり実行委員会(商工会南郷支所内) 0241-72-2041
9月3日(土)～4日(日)	奥会津雪むろそば祭り	舘岩地域	たかつえスキー場	南会津町観光物産協会舘岩支部 0241-78-2546
9月4日(日)	第10回会津地鶏まつり	三島町	美坂高原	三島町役場産業建設課 0241-48-5566
9月4日(日)	玉梨・八町温泉まつり	金山町	玉梨・八町温泉	金山町役場産業課 0241-54-5327
9月5日(月)	山入歌舞伎(山入地区芸能発表会)	金山町	芸能伝承館	金山町役場産業課 0241-54-5327
9月10日(土)～11日(日)	古町のまつり	伊南地域	古町地区	南会津町観光物産協会伊南支部 0241-76-2517
9月中旬(予定)	西山温泉ます釣り大会	柳津町	西山温泉(滝谷川)	西山温泉滝の湯旅館 0241-43-2311
9月中旬(予定)	第16回西山温泉まつり	柳津町	西山温泉山村公園「せいざん荘」	柳津町役場西山支所 0241-43-2111
9月25日(日)	第37回昭和村野尻川ます釣り大会	昭和村	下平公園	昭和村観光協会 0241-57-3100



発行：只見川電源流域振興協議会(柳津町・三島町・金山町・昭和村・只見町・南会津町(南郷、伊南、舘岩地域)・檜枝岐村)  
発行日：7月15日発行(年6回発行) 事務局：〒969-7511 福島県大沼郡三島町町民センター(奥会津振興センター内) TEL.0241-48-5525  
http://www.okuaizu.net 〆webmaster@okuaizu.net 編集：奥会津書房 福島県大沼郡三島町宮下 TEL.0241-52-3580

★只見川電源流域振興協議会は、福島県只見川流域の7町村の活性化と振興を図るために活動している団体です。

この冊子は電源立地地域対策交付金の事業により作成されています。